（別添資料１）

事業所名　パレット

支援プログラム（放課後等デイサービス）

作成日　2025 年　2 月　10 日

法人（事業所）理念		『伝えよう　私たちの思い』								
支援方針		社会に出て困りごとが減るように、自分の想いを伝える力や相手の想いも受け取れる力を育み、自己肯定感を高め自己決定する力をつける為の支援を行います。								
営業時間			9 時	30 分から	18 時	30 分まで	送迎実施の有無	あり（送迎場所については、応相談）		
サービス提供時間			10 時	30 分から	17 時	0 分まで				
		支　援　内　容								
本人支援	健康・生活	・健康状態を把握し、身辺自立の促進（体温測定・手洗い・うがい・身の回りの整理整頓・昼食時の所作・おやつ・服薬など） ・帰りの会内で、余暇活動の把握や、情報発信と共有 ・実際の買い物や、お店ごっこ遊び（模擬店）を通して、お金の認識やお店でのやり取り、物を購入する行動を学ぶ								
	運動・感覚	・身体を使った集団遊び（鬼ごっこやだるまさんがころんだ、Tボールなど）を通して、健康的な体力づくりや目的に合わせた身体の動かし方を学ぶ ・感覚を意識した創作や遊び（パステルアート・ハンドペイント・ジャンプ隊・トランポリンなど）を通して、触覚・固有覚・前庭覚等の感覚を養う ・物（ボール・マーカーコーン等）を使用する遊びを通して、手指の動き・目と手の協調性・追視機能等を高め、物の操作性を養う								
	認知・行動	・絵本や児童書、漫画の提供と絵本の読み聞かせを通して、行動や心情の疑似体験やこどもの実際の体験とリンクさせたりしながら、想像力や知的好奇心、感情表現を育む ・学習教材や時計、日常生活で扱う物品を使用し、色や数字、属性など様々な概念の獲得に向け、個人対応にて課題の提供をしている ・認知力を要する課題をゲーム（トランプ・ナインタイル・マーカーコーンを瞬時に色分けなど）に取り入れ、ワーキングメモリーや集中力を養う								
	言語 コミュニケーション	・学習支援（宿題や公文だけでなく、手話表現や日本語の語彙を増やすためのプリント学習やコミュニケーションをはかっている） ・帰りの会内で、経験を言葉にし、また他者の言葉を聞く経験、そしてそれを共有する経験の場を作っている ・活動終了時には感想を聞いたり、創作場面では作品について“工夫した点”や“苦労した点”など経験や感情を言葉にし、それを受け入れられる機会を作っている								
	人間関係 社会性	・安全な居場所としてスタッフとの関係の形成（傾聴、受容、遊びの介入、トラブルの介入など） ・集団行動（こども会議・ごっこ遊び・外出時の移動等）内で、先輩から受け継がれるものや、年齢やキャラクターなど自己の立ち位置からの役割を認識し、行動やルールを学ぶ ・創作物や考えたことを表出し、受け入れてもらう経験を積み重ねる								
家族支援		・手話教室 ・家族からの相談等の機会の提供と助言 ・連絡帳でのやり取りや送迎時に情報共有					移行支援	・学校訪問し、学校での様子の把握や情報の共有 ・学校への送迎時は、本日の学校での様子や最近の行動変化、宿題や学習状況の共有		
地域支援・地域連携		・子ども部会への参加　・ボランティアの積極的な受け入れ ・地域の施設の利用、連携（図書館と連携し難聴児向けのリストを図書館HPに掲載、定期的なイベント企画）					職員の質の向上	・全職員向け研修（1回/月） ・常勤会議（長期休み前）、全事業所合同のリーダー会議（1回/月） ・出勤職員の打ち合わせ（平日毎日）・外部研修の参加と伝達講習		
主な行事等		・季節に合わせた行事（例：豆まき・夏祭り・クリスマス会・ハロウィン・お月見など） ・防災訓練（1回/月、消火訓練・通報訓練・消防署見学・防災センターへの外出など）								